



# さくら

2008 秋

発行  
社会福祉法人 東桜会  
第 21 号

〒420-0962  
静岡県葵区東 527 番地の 1  
特別養護老人ホーム 麻機園  
TEL 054(247)8739  
FAX 054(247)8640

## 敬老会



9月13日に敬老会が行われました。一部の式典は、101歳の方を始め、100歳の2名の方が加わり、入所者の皆様は緊張した面持ちで祝辞等を聴いていました。二部のアトラクションでは、杉山陽子寮母が所属する合唱団『パレット』さんが歌を披露して下さいました。「赤とんぼ」や「浜辺の歌」など入所者の皆様の知っている歌がたくさんあり一緒に唄っていました。締めくくりに花火音頭では、ご家族の方も大勢参加して下さい楽しい輪踊りとなりました。来年も、敬老会の締めは『花火音頭』で盛り上がりましょう。

麻機園 寮母 石神千裕

## ～ 楽しく、元気で ～ 雨坪太極拳クラブ

「よねさ～ん、お元気でしたか?」「ありがとう、元気にしていましたよ」「せいさん、また来ましたよ」5月より訪問させて頂き5ヶ月、ようやく明るい言葉が交わせるようになり、気持ちがとけあって来た様な感じがします。

私達の気功・太極拳は1988年竜南2丁目の雨坪公園で産声をあげました。それから20年、5月1日が誕生日です。その間大した病気もせず、風邪も引かず、毎朝6時より30～40名程が集まって来ます。朝の四季の表情は素晴らしいものです。春は草木の芽吹きに会い、夏は新緑の中で汗をかき、秋はさわやかな風を感じ、冬は暗い中で手を擦り合わせて体を温めます。いつも楽しく、笑いが絶えません。この私達の幸せを、20周年の機会にどなたかにおすす分けしたいと思い、麻機園さんにご相談申し上げました所、快く受け入れて頂きました。



私達は入所者の方に接することは初めての経験ですので、迷いもありましたが、とにかく明るく、真心・奉仕の気持ちで当たってみようと心掛けました。動作が出来ない方には、手足をマッサージすることから始めました。しかし、最近では少しでも自分で手を使い、足を伸ばし、無理でない程度に動作の手助けをしております。無表情だった顔に時々にはかんだような笑顔が見えた時、何とも言えぬ安らぎを覚えます。1時間もあっという間に経ってしまいます。最後は私達の太極拳の表演で締めさせて頂いています。演技曲「月の砂漠」を皆さんが口ずさんで同調してくれたこと、一体になった瞬間でした。有り難いことです。これからも感謝の気持ちを持って訪問させて頂きます。

## 『感謝・感激・雨あられ』

「感謝、感激、雨あられ。恐れ入り屋の鬼子母神」「お姉さま、良きに計らって下さいませ。ご好意に甘えましょう。ありがとう」と、手を合わせてリズム良くおっしゃるIさんの笑顔が目につきます。

私はこの言葉を思い出す度に、「よく考えて、その方にとって一番良い介護(良きに計らう)が出来ているだろうか。信頼され、全てを任されて(甘えて)頂ける寮母になれたらだろうか。『ありがとう』と言って下さるその言葉に恥じない自分であるだろうか・・・」と反省させられます。

私達は、日頃入所者のみなさんからたくさんの言葉を掛けて頂きます。そしてその言葉に気付きを頂き、成長させて頂いています。

人生の大先輩に学ばせて頂きながら、同じ時を過ごす幸せに感謝します。これからも皆様とたくさんお話をさせて下さいよろしくお願い致します。

麻機園 寮母 伊藤晴美

やさしさの中で笑顔が咲き揃う 社会福祉法人東桜会

## 『100歳おめでとうございます』

100歳のお祝い訪問で、市の職員さんが来園されました。お祝いに集まった入所者、職員、ご家族の方に見守られ、記念の肖像画・賞状・花束などが贈呈されました。「おめでとうございます」と、一つ一つ記念品が渡される度に「ありがとうございます」としっかりとお礼を言い、両手で受け取っていた豊作さん。豊作さんの隣に座った奥様のちとさんは、周りからの拍手とお祝いの言葉に何度も何度も「ありがとうございます」と言っていました。金作さんの横にはご家族が寄り添い、頂いた記念品を私達に見せて下さいました。

長寿というと、女性のイメージが強いように思います。実際に麻機園の最高齢者は現在101歳の女性です。でも今年はお二人とも男性。これからもどうかお元気で、来年再来年と歳を重ねていく中での貴重な時間を共有させてください。



麻機園 寮母 青木里実

## “ 園芸クラブ ”

園芸クラブは入所者10名程が参加して土や植物に接して楽しむクラブです。春にはじゃがいも、夏にはミニトマトと朝顔を植えました。土が手に付いて汚れる事もお構いなしに、プランターに苗を植えている時の顔は誰もが真剣で、楽しそうです。ミニトマトはたくさん出来、ちょっと酸っぱかったですが、手作り、無農薬の安心野菜を味わいました。また、朝顔は窓辺を飾り、真夏の暑さの中に涼を感じる事が出来ました。生け花では、色とりどりの花を選んで自分なりのコーディネートで生け、それぞれに個性が表現された作品となります。9月はお月見にちなんで、すすきと萩を飾り、秋の風情となりました。

今後とも季節を感じられるような植物に触れて頂けるように計画を立て、私達職員も共に参加し、楽しいクラブにして行きたいと思っております。



麻機園 寮母 池野ひとみ

## 新しい職員の紹介



9月より麻機園の寮母になりました。先輩方に教えられながら頑張っています。入所者の皆さんの笑顔に接し、楽しく仕事をしています。早く皆さんに覚えて頂き、信頼されるように努力します。どうぞよろしくお祈いします。

麻機園 寮母 望月ひとみ

**貴重な体験** 森下 恵美

麻機園に入社して8年が過ぎ、色々なことがありました。父の事故死、母の手術、息子の結婚、孫の誕生、母の10時間もかかった2回目の手術、そして家の建て替え・・・何時でも私と一緒に悲しんでくれたり、励ましてくれたり、そして喜んでくれたのが入所者のMさんでした。

ある朝私に「いつも元気をありがとう」と声をかけてくれたことがあります。元気をもらっているのは私の方なのに。その一言はとても嬉しく、私にとってとても励みになりました。夜勤明けの朝は必ず「元気？いつも大変ね」と声を掛けてくれました。私の誕生日には「おめでとう」と袋を差し出し「今日は誕生日でしょ」と嬉しくて胸がつかまってしまいました。頂いた紙袋の中にはチョコレートとおせんべいが入っていました。どんな高価なプレゼントよりMさんから頂いた小さな心のこもったプレゼントがとても嬉しかったです。

毎朝かかす事なくお手玉と運動をやり自分の体を大事にし、とても元気だったMさん。でもMさんはもう麻機園にはいません。今年に入り、体調を崩され入院私はお見舞いに行きました。元気なMさんを想像して病室に入りましたが、Mさんは苦しうにベッドに横になっていました。私にやっとの思いで返事をしてくれました。私は何をしてあげたらいいのかわからず、ただただ手や足をさすっているだけでした。涙が出てくるのを堪えてさすっていました。その2日後Mさんは息を引き取りました。Mさんともっともつと色々な話をしたかった・・・Mさんの笑顔は一生忘れられません。感謝の気持ちを込めて、ありがとうとごさいます。

今までに何人の方を看取っただろう。お別れをすることが本当に悲しい。でもこんな貴重な体験をすることができ、介護職になれて良かったと思っています。

デイサービスを無料で1日体験できます。ご利用希望の方は209-2619までお電話ください。